

# 歴史と文化のまちを歩く

其の九十二

## 餅街道松阪

参宮街道はお餅を売る店が多く並び、いつの頃からか「餅街道」ともいわれるようになりました。伊勢参宮をする旅人たちは、ここで空腹を満たし、旅の疲れを癒していました。中でも松阪市内を通る街道沿いには、たくさん「餅屋さん」がありました。

長谷川家の十一代目当主長谷川可同は、魚町長谷川邸の一角に餅の博物館「餅舎」(現在は取り壊されています)を建てるほどの大の餅好きで、餅に関する資料の収集家でした。その可同が明治から大正期にかけて収集した全国の餅札(餅菓子の包装紙)のスクラップ帳(餅札集)の中から市内参宮街道沿いの餅屋(一部)を紹介します。

- ①朝田寺名物 あわ餅 松阪愛宕町 三河屋
- ②羽二重餅 松阪日野町八雲小路 小林製
- ③鈴屋餅 御菓子司 伊勢松阪日野町 九華堂精製
- ④国勢調査記念もち 御菓子 松坂湊町 藤村老伴
- ⑤宮内省御用 御菓子司 伊勢松阪 柳屋奉善
- ⑥松阪通日野町 清甘堂
- ⑦元祖五色餅 伊勢 松阪町 観音前 伊賀屋
- ⑧伊勢 松阪中町 御餡餅司 味梅軒製
- ⑨元祖白玉 伊勢松阪中町 御菓子所 木地屋元貞製
- ⑩松阪本町 あさひや
- ⑪松阪 中町 山作良軒
- ⑫五しき餅 松阪ほん町 御菓子所 三枳屋製
- ⑬名物あかふく 伊勢松坂大橋北詰西角 本家 餅惣製
- ⑭イセまつ坂 福徳餅
- ⑮音羽餅 松阪中町 清水屋製
- ⑯勝利餅 松阪川井町 勝利軒製
- ⑰羽二重餅 松阪西町 藤家

「餅札集」にみる参宮街道沿い(市内)の餅菓子店の包装紙(一部)



背景：松坂町絵図(松阪市史より)

文責：村山 祈美 (歴史民俗資料館)

問い合わせ先：歴史民俗資料館 (☎23-2381)